



開所日時 月～金曜日 15:00～18:00
土曜日 10:00～13:00
15:00～18:00

児童デイ

～施設訪問の報告～

6月10日(木)に恒例の施設訪問会を行いました。今年は長久手町にある「NPOかわせみ」に訪問させて頂きました。

NPOかわせみは、主に障がいのある成人の方を対象とした、生活の場、就労の場を運営しています。特徴的なのは、生産しているものが全て「食べ物」であるということ。パンや野菜などを長久手の広大でどかな環境で生産・販売しています。

パン工房や農園、喫茶店などを見学させて頂いたのですが、働く方それぞれの障がい特性に合わせた工夫や、商品のクオリティの高さに驚きました。(喫茶店で食べたパンはとても美味しかったです！)

特に印象に残ったのは、働いている方々がとてもイキイキとされているということ。“やらされている”のではなく、目的ややりがいを持って仕事に取り組んでいらっしゃるということです。

「食べ物」ならでは、作る→売る(食べる)→無くなる(喜んでもらえる・お金になる)という、目に見える、実感の持てる仕事のサイクルが、やりがいにつながっているのではないかと感じました。



かわせみ畑。ここでは、トマトを中心に様々な野菜を丁寧に育てています。



かわせみ工房。4人の方が、鮮やかな手つきで次々とパンを焼いています。

一宮市へ・・・

児童デイサービスにおける
学校からの送迎の改善を
要望します！

▼一宮市では学校からデイまでの送迎加算は認められていない

自宅とデイの場所との送迎以外は自費となる為、事業所は学校からデイサービスの場所までの送迎を無料もしくは有料で送迎している。その料金は別途事務処理をして請求しています。

利用者はその分の負担が発生します。

▼学校からデイまでの送迎料の半額を事業所が利用者に代わって請求しています

一宮市ではその負担を軽くする為に半額を利用者の口座へ振り込んで補助している。しかし、その事務処理(通所交通費)は事業所がしなければなりません。

▼通所交通費の手続き手数料はありません。毎月1日から10日までに次の本手続きが必要なのです。

〈前準備〉

- ① 利用者へ交通費給付申請書の記入捺印を依頼する。
- ② 交通費給付申請書を事業所が市に提出。
- ③ 市から交通費給付対象者通知書と交通費給付決定通知書が送付されて、児童に通知番号が割り当てられる。

〈本手続き〉(4か月毎の3月、7月、11月)

- ① 請求月になれば前月までの集計をする。
- ② 4か月分の全員の利用実績記録表作成。
- ③ ①を確認するための4か月分の児童デイサービス提供実績記録表を添付。
- ④ 4か月分の全員の交通費請求書を作成し、利用者の確認印を頂く。
- ⑤ ①と②と③を請求月10日までに福祉課へ提出。
- ⑥ 支払った交通費の半額が利用者の口座へ市から振り込まれる。

学校からの送迎加算(54円負担)を認めて欲しい。その為の施策を改善して頂きたい。これは利用者の希望でもあるし事業所側も切望しています。

ご検討頂きますようお願いいたします。

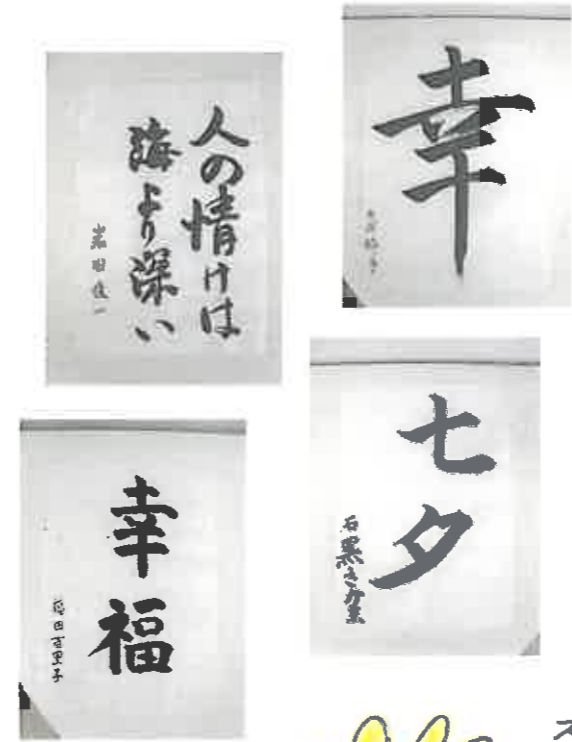
ミニデイだよ!

いちょうの木



雨のしずくを受けて、アジサイがますます色鮮やかな季節となりました。昼食後のお散歩は雨で中止かと思っていると、なぜかいつも雨がやみ、隣の公園で森林浴。その度にみなさんは、「まごころは本当にいい場所にあるな〜。緑がたくさんあって気持ちがいい。」と喜んでみえます。そんな散歩の途中、IさんとMさんがいちょうの若木を発見され、抜いて見せて下さいました。秋に落ちた銀杏から、ニョキニョキと芽が出ていて、「こんな風に生えてくるんだねえ」と自然の生命力に感心したりしました。

今月は書道展に向けて、毎週書道に励みました。ご自分の筆を持ってこられたIさん。書かれる字を家で考えてみえたSさん。去年書いた作品が印刷されたマグカップを持っていらっしやったKさん。それぞれみなさんとも真剣に取り組んでみえました。



絵：戸田唯貴子

心づれづれ



父がくれた贈り物 母との日々

今井 美智子

「お茄子が冷凍室に入ってるね、おつかいでしょ!?びっくりしたわ〜!」と家族や友人に話したあの頃。母が認知症だなんて思ってもみませんでした。あれからもう十年が過ぎて、いろいろな出来事が今は私の心の中に大切な思い出となって残っています。

母は気丈な人で、父が早くに亡くなってからは何事も頑張って一人でやってきた人で、人の助けを簡単に受け入れる事が出来ない人でした。

最初の一・二年は本当に元気な頃の母の様子からは想像もつかない不思議な言動に、家族みんなが受け入れる事が出来ず、悲しい思いとどうしていいのかわからない辛い思いの中で毎日が過ぎていったように思います。

少しずつ母も人の助けを受け入れられるようになってからは、訪問介護やデイサービス、ここ数年はショートステイも利用出来るようになり、入院も二回しましたが、今はとても穏やかに毎日を過ごさせてもらっています。

本当にこの十年を思い起こすと、病気が始まったあの頃は自分自身の心が不安定になり、三人の子供の様子よりも母の事で一杯々の毎日でした。

いろいろな方に助けていただいて、母の介護を日々学ばせてもらいながら今までやって来る事が出来ました。今本当に、私は介護する事で人との出会いを通して、自分自身が少しずつ成長できたように思います。人の温かさ、優しさ、労わり、思いやり、励まし・・・いろいろな思いをいつも周りの方からいただき、介護を通して家族にもより一層感謝出来る自分に出会える事が出来ました。今は本当に母の介護に寄り添える自分を「母との大切な時間」と思え、幸せを感じる毎日です。